

令和5年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の5類移行により、これまで中止や規模を縮小して開催していた事業について、令和5年度は通常通りの活動を再開することが出来た。

公益目的事業の実施

主要事業である「タックスフェスタ」や「七番神輿」は、4年ぶりにコロナ禍前の規模で開催した。また、支部が行う税の啓発活動やイベント等の協力についても、予定通り実施することができた。

このような地域貢献活動の拡充を図ることで、鹿児島市の活性化の一助となっている。

特に、前年において全国的最優秀賞を受賞した青年部会の「租税教育」活動は、5年度も学校教育の一環として税務行政の推進を継続している。その功績に対し、国税庁長官より感謝状を受賞した。

企業支援の一環でもある研修会は、インボイス制度をはじめとする制度改革に伴う説明会や、働き方改革など企業のニーズが高いセミナーを開催するなど、時代の要請に応えた研修会開催の確保に努めた。

組織運営と財政基盤

前年より取組みの強化を図っていた「会員増強」運動は、役員が中心となり支部全体で取り組み、目標としていた会員数4,000社を突破し、415社の増加となった。そのことが要因となり、県連は全国1位の証として最優秀賞に輝いたが、単体会部門においても、鹿児島法人会が全国1位となった。

一方、法人会の最大のメリットである会員同士の情報交換は、コロナ感染症の5類移行とともに、活動が徐々に活発化され、すべての支部で全体会を開催することが出来た。